

グリーン事業とエネルギー変換によるグリーン企業 地域資源循環による持続可能な地域社会を目指す

主に廃棄物収集運搬作業および中間処理、浄化槽の管理・清掃業務を行っている。環境に配慮した業務を心がけており先導的立場で地域の環境保全に努めている。新事業として「地域循環型ビジネス」を開始。北駿地域の山林の間伐から生じる林地残材や流木等、製材所から発生する端材やおが粉を利用し木質ペレットを生産。この木質ペレットを活用し、CO₂を出さないバイオマスエネルギーの地域循環サイクル構築を目指している。生活環境を守るグリーン事業と山林資源を地産地焼エネルギーに変えるグリーン企業である。

所在地 静岡県駿東郡小山町一色200-1
 電話/FAX 0550-76-5353 / 0550-76-5014
 URL <http://www.fuji5353.co.jp/index.html>
 代表者 代表取締役 込山 功次

設立 1983年
 資本金 1,000万円
 従業員数 17名



間伐等で発生した木材を木質ペレットに、ゴミを発生させずCO₂排出量を抑制

小山町は森林比率が67%を占めているが森林整備が遅れている地域が多いため森林整備と切り離せない地域である。森林整備には間伐等で発生した木材の処理が必須となるため、同社で低質材を引き受け木質ペレットを生産。間伐等で発生した木材は、木くずまですべて木質ペレットにしているため、いわゆる「ゴミ」は一切発生せず、CO₂排出量も抑えている。生産した木質ペレットは、町のバイオマス発電や工場・施設の給湯・冷暖房用のエネルギー源として提供。地域木材循環ビジネスに欠かせない存在となっている。



重油等の代替エネルギー・木質ペレット

バイオマス発電所排熱を活用した高品質ペレットを生産する計画

木質ペレットは硬度を高め、木くずの含水率を減少させることで燃焼効率が向上する。現工場では気流乾燥方式で木くずを乾燥させてペレットを製造しているが品質にバラつきが出るのが課題であった。そのため町内のバイオマス発電施設で常時捨てられている熱に着目し、この発電施設に併設する場所に移転し、お湯を熱源とした低温ベルト乾燥機を導入する計画を進めている。低温で時間をかけて乾燥することで目標とする含水率を安定的に実現させるとともに、無駄のない自然エネルギー活用を目指す。



燃焼効率が向上した低温ベルト乾燥

工場移転増設により生産性の向上、林業拠点の集約化、地域経済活性化に寄与

木材供給の民間森林組合と小山町のバイオマス発電所および国内最大規模のパーティクルボード工場の隣接地に工場の移転を計画している。移転する工場では木質ペレットの生産量を3倍に増設するとともに、パーティクルボード原料のチップも製造する。原料は民間の森林組合の原木センターから調達し、生産したペレットはバイオマス発電所で利用、熱をペレット乾燥の熱源とする。工場移転計画を実現することでペレット工場が地域木材循環のハブとなる。点在していた地域の木材施設がつながり地域経済の活性化に寄与する。



木質ペレットによる地域循環サイクル